

味の素の1分3秒の会議時間

味の素は平均3時間程度かかっていた会議を1時間で終わらせることを目指す。2017年4月から本体の全従業員を対象とした在宅勤務制度を導入する計画。会社での長時間労働の主因になっている会議の短縮で、在宅勤務をしやすくする。

社内調査の結果、従業員が1日の半分以上を会議や会議のための資料作成に割いている実態が分かった。東京本社では会議に使う資料の事前配信を徹底し、冒頭の説明時間を省略して、かかる時間を短くする。経営幹部にはタブレット端末を配布し、会議のペーパーレス化を進める。

現場への権限委譲により本社の会議数を減らす。アジアなどエリアごとに統括する組織を設け、権限を移す。単純な案件については地域統括社が決定できるようにする。

日本経済新聞

2016年 12月 22日(木)